

## 丹沢 世附川寺ノ沢

### 左俣溯行 右俣下降

5月28日（土）：曇り

寺ノ沢橋に車2台分くらいの駐車スペースがあり、そこに車をとめた。仕事道をたどって入溪。いきなり堰堤が出てくる。堰堤をいくつも超えて、最後の堰堤を超えたところで仕事道を発見した。帰りはこの仕事道を使って帰ろう。堰堤の上がすぐ二俣だった。左俣、右俣どちらを見ても堰堤が見える。ここは左俣に入る。

5分も歩くと3段15mの滝が現れた。登るのは無理。右巻、左巻どちらも記録があるが、左巻は大高巻きになりそうだったので右から巻いた。思ったより大高巻になった。そして、意外に悪い。前に行く中村さんがバイルを使い始めた。ここで、自分はバイルを車に置き忘れてきたことに気付いた。自分は馬鹿だ。バイルがないので掴むものを探す。丹沢は灌木があまり信用できない。木の根を掴むのが一番安心だ。

しばらく行くと取水口のようなものがあった。地図に青点線で描かれているものだ。それで仕事道があるのだろう。この先しばらく小滝が続く。

4mの小滝はちょっと緊張して登る。ガイド本には「厳しい」と書いてあるが「楽しい」。小滝が続く。ちょっと考えないと登れない、楽しい小滝だった。

15m滑り台状滝は、「頑張れば登れそうだけど時間がないから巻く」という記録が多い。いろいろルートを考えてが、外傾しているので登るのは難しいと判断した。左に虎ロープが見えたが、滝の左側の灌木帯を登った。高度感があったのでザイルを出した。登りながら滝を眺めたが、直登は難しそうだった。

奥の二俣。溯下降した記録で右俣に入った記録があったが、右俣を見ると崩壊してガレていたのでやめた。ここは左俣に入った。小滝が連続して楽しかった。

登れない滝があったので、右から巻いたが大高巻きになり、そのまま尾根に出てしまった。沢も終わりそうだったので、そのまま尾根を稜線まで歩いた。権現山の少し東側に出た。権現山まで戻って休憩。忠実に沢型を詰めた記録がなかったのは、みんな同じことをしたからだろう。

一つ尾根をまたいでから下り始める。しばらく急な斜面が続いて緊張する。しばらくして枯れ滝がいくつか出てきた。どれもクライムダウンできた。

大きな滝が現れる。30mザイルを2本繋げて懸垂下降した。ザイルにあまり余裕がなかったので、ガイド本では15mとなっているが、20m以上あるだろう。この滝の下で右岸から支沢が入り、水が出てくる。

この先の下降はあっという間だった。2段9mはクライムダウンできたが、ちょっと緊張した。大滝12mは虎ロープが見えたので巻き下った。最後の堰堤は虎ロープを伝って左岸から巻く。ここから2分で二俣についた。

【日程】

2016年5月28日（土）

【メンバー】

中村（L）、煤孫

【グレード】

2級

【地形図】

中川、山北

【記】煤孫

帰りは仕事道で帰ろうとしたが、はっきりしない。崖の上に行ってしまう、戻ったりした。

半分堰堤、半分滝の堰堤はクライムダウンが難しいので懸垂下降した。ここは工事のおじさんたちが下れないだろう。

駐車場に戻ったのは14時半だった。下山時刻を15時半から16時頃と予想していたので、だいぶ速いペースだった。登りはだいたい予想通りの時間だったが、下降が速かった。あまりザイルを出さなくてクライムダウンしたので速く下降できたようだ。

日帰りの溯下降として手軽なルートだ。



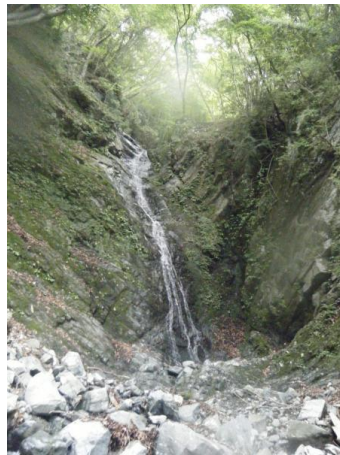
写真左上：15mトイ状



写真右上：取水口



写真左下：くの字滝



写真右下：15m滑り台状滝

### 【行程】

5/28

寺ノ沢橋 (9:00) ~ 二俣 (9:25) ~ 権現山山頂 (12:15/30) ~ 二俣 (14:05) ~ 寺ノ沢橋 (14:30)